

令和6年度小松市立安宅小学校 学校評価2

	目標・具体的取り組み	取組の状況（中間・8月提出）	取組の成果と課題（年度末・3月提出）
生徒指導	<p>〈自治的活動の充実を図り、児童の自己指導能力を高める。〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童会や各学年を中心に企画し、学級や一人一人に向けて「どんな学校にしたいか」「どんなクラスにしたいか」「どんな自分になりたいか」目標を考えさせ、目標に向けての活動を実施できる場を設定し、支援する。 ・運営委員会・各委員会において、児童会目標「1人1人の理想を現実にし、誰とでも協力し、思いやりのあふれる安宅小にしよう！」の達成に向けた取り組みを計画的に実践する。 ・あったか集会や代表議会を計画的に行い、より良い学校を創ろうとする意識を高める。 		
	<p>〈要支援児童への支援体制の充実を図り、児童の自己存在感を高める。〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者や関係機関と連携し、児童の特性に応じて組織的な支援を行う。 ・配慮が必要な児童の実態把握に努め、実態に応じた具体的な支援・手立てを検討し実践するとともに定期的な検証と改善に取り組む。 ・スクールカウンセラー、特別支援教育支援員や学習支援員、心の相談員等の専門性を生かした支援体制を構築し、授業者や児童のニーズに応じ、効果的な支援を行う。 		
道徳教育	<p>〈道徳科の授業を充実させ、主体的につながり、高め合う子の育成に努める。〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ねらいとする道徳的価値に迫る授業を構想するために「授業構想シート」を中心とした教材研究や実践交流を行う。 ・授業参観で道徳の授業を公開したり、学級通信に道徳の授業の様子を載せたりすることで、家庭に向けて道徳教育の啓発に努める。 		
	<p>〈自らの生活を振り返り、体力向上と健康の増進に向けて主体的に行動する児童の育成する〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学級で週1回ペースで「スポチャレながなわ」に取り組む。 ・自らの生活習慣を振り返る機会を設ける。 ・学級担任と養護教諭が連携し、生活習慣や感染予防についての保健指導を行う。 		
食育	<p>〈地場産物の理解を深め、望ましい食生活を送ろうとする主体性を高める〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間計画に沿って地場産物や地域に受け継がれてきた伝統的な料理等についての食に関する指導、食材の紹介・掲示を月に1回以上実施する。 		
	<p>〈情報を効果的に活用し実践する力を高める〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・GIGAスクール構想年間計画に基づき、計画的に研修を実施する。 ・IoT機器の各教科等のねらいに応じた効果的な活用法、個に応じた学習用端末の活用の在り方等を追究する。 ・Qubenaを積極的に活用し、学習の基礎基本の定着を図る。 		
読書教育	<p>〈児童の読書の質を高める〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎週木曜の朝自習を教職員や図書ボランティアによる「朝の読み聞かせ」に設定したり、各学年に応じた「おすすめ図書」を見直したりして、児童がいろいろな分野の本に親しめる機会を増やす。 ・各学期1回「ファミリー読書」期間を設けるとともに、児童図書委員会の企画を通して、児童の読む意欲を高める。 		
	<p>〈学校・保護者・地域との効果的な連携を図る。〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育活動全般において、各種7よりやホームページ、コドモン等を活用した発信を通して、保護者や地域に適切な情報を迅速に公開・提供する。 ・児童の健康・安全に関する情報において、状況に応じた連絡手段を選び、保護者と双方向に連絡できるようにする。特に、児童の登下校の安全確保においては、3者間の情報共有に努める。 ・各教科・総合的な学習の時間・クラブ活動等において、地域人材の活用を図る。 		

学校関係者評価	
---------	--